

(2) 歳 出

本年度の歳出予算は、「本年度の予算編成方針と主要な施策」で説明しました重点施策を中心に財源配分を行いました。その内容は次のとおりです。

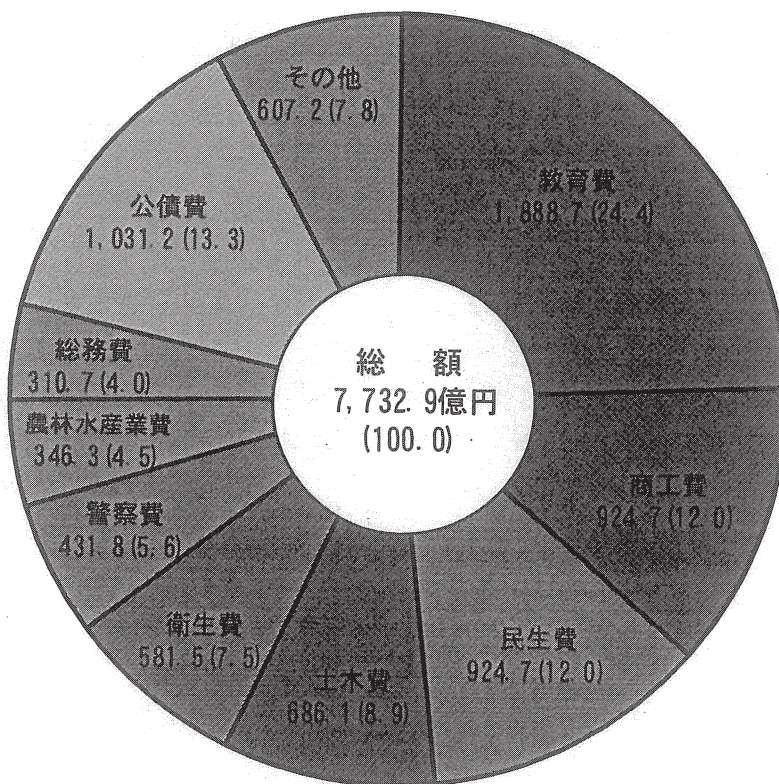
ア 科目別の内訳

歳出予算を使用目的により科目別に分類すると次のとおりとなります。

最も構成比の大きいものは教育費であり、次いで公債費、商工費、民生費の順となり、これらで全体の61.7%を占めています。

平成26年度一般会計当初予算科目別内訳

(単位：億円、%)

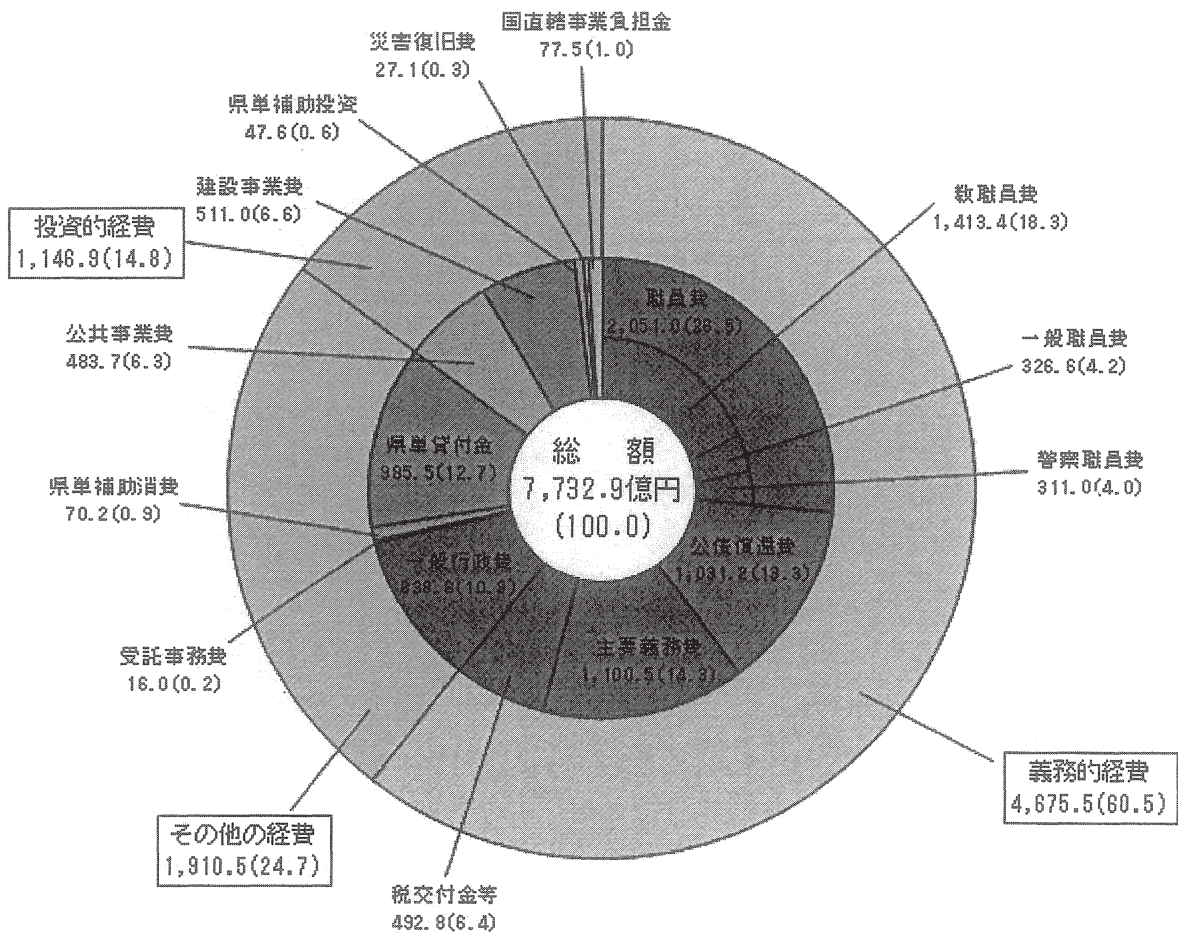


イ 性質別の分類

平成26年度の一般会計予算を使用目的により性質別に分類しますと次のとおりとなります。

平成26年度一般会計当初予算性質別内訳

(単位：億円、%)



性質別の区分は、「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに大別されます。

「義務的経費」は、生活保護・児童福祉等措置費、国民健康保険負担金、介護給付費、障害者自立支援費、精神・結核等医療給付金、高齢者・子ども・妊産婦・重度心身障害児等の医療費軽減のための経費や議員・委員に対する報酬などの「主要義務費」、教育職員、警察職員、一般行政職員の給与等の「職員費」、県債償還のための「公債費」及び法令等により県税等の一部を市町村に交付する「税交付金等」で、その支出が義務づけられている経費です。

この経費の総額は4,675億4,800万円で、前年度と比較して70億5,800万円、1.5%増加し、予算総額に占める割合は60.5%と前年度と比較して0.7ポイントの増となりました。

「投資的経費」は、社会資本の整備を図るための経費で、「公共事業費」、「建設事業費」、「国直轄事業負担金」、「災害復旧費」及び「県単補助金（投資）」で構成されています。この経費の総額は、1,146億9,200万円で、前年度と比較しますと18億円、1.6%上回っています。予算総額に占める割合は14.8%と前年度の14.7%と比較して0.1ポイントの増となりました。

「その他の経費」は、1,910億5,000万円であり、前年度と比較しますと47億8,800万円、2.4%下回っています。予算総額に占める割合は、24.7%と前年度の25.5%より0.8ポイント下回りました。